

## 水について触れ・学ぶ 水道週間イベント

### ■水道週間中、市内でさまざまなイベントを開催

6月1日から6月7日まで、さまざまなイベントが開催された「第55回水道週間」。期間中には、多くの人々がイベントに参加し、普段何気なく使っている水道について理解を深めたり、水の大切さを再確認しました。



### ◆「生徒による記念植樹」◆

水道についての関心と理解を深めてもらうとともに、登米市の豊かな水資源を、次世代に引き継ぐため、登米中学校2年生による植樹作業が6月3日（月）、登米町日根牛字上羽沢地内で実施されました。

当日は晴天の下、登米森林組合員から植樹作業の注意点などの説明を受けた後、みんなで心を込めてミズナラやブナなど広葉樹200本を植樹しました。

参加した子供たちは「大きくなるのが楽しみ」「また体験してみたい」など思い思いに感想を述べ、実際の体験を通じて水や森林の大切さについて関心を深めました。



植樹に先立ち、森林組合の指導員が植樹の方法や注意点などについて説明を受けました。



急な斜面にも負けず、みんなで協力し合い、広葉樹の苗200本を植樹しました。



苗が倒れないよう、丁寧にそえ木を結び植樹しました。



植樹終了後、標柱を囲んで記念写真（2年生のみなさん）



## ◆「園児によるヤマメの稚魚放流」◆

川に親しみを持つとともに、環境保全活動、環境教育の取り組みの一環として、6月4日（火）北上川右岸の水辺プラザ船着場で、登米幼稚園と登米保育園の年長組合計22人の園児がヤマメの稚魚を放流しました。

園児たちは、「元気に大きく育てね」と声を掛けながら、優しく稚魚を放流しました。



水道事業所の所長さんと、元気いっぱいにごあいさつ。



はじめて見るヤマメの稚魚に驚きながらもみんなと仲よく並んで放流しました。



「お魚さん大きくなって帰ってきてね」と声を掛けながら、稚魚を放流しました。



放流された稚魚は群れを作りながら元気に泳いでいきました。



放流後には水道事業所からお礼の記念品を贈られました。



「ありがとうございました」と元気にお礼のごあいさつ。

## ◆「北上川クリーン作戦」◆

登米市の水道の主な水源となっている北上川。その堤防を美化し安全を守るため、取水口周辺の堤防をきれいにする「北上川クリーン作戦」が6月6日（木）に実施されました。

当日は天候にも恵まれ、関係者をはじめ登米市管工事業協同組合の皆さんやとよま北上川かっぱの会、ボランティアなど約50名が参加し、午後3時から4時までの約1時間、堤防上を清掃作業に汗を流しました。

作業では、大きなゴミ袋を手に堤防や河川内に落ちているビニール類やペットボトル、空き缶、空き瓶などを拾いました。終了後には流木などを含めたくさんのゴミが回収されました。

ご協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました。



当日は管工事業組合や関係各社の大勢の皆さんがクリーン作戦に参加しました。



川岸にはペットボトルやビニール類などのゴミが多く落ちていました。



集まったゴミは空き缶やペットボトルなど家庭から出るゴミがほとんどでした。



皆さんのご協力によって回収されたゴミは、軽トラックで2台分にもなりました。